

「運び方改革」に向けた 決起大会を開催



大阪府トラック協会は12月12日、大阪府トラック総合会館において「運び方改革」に向けた決起大会を開催した。

今回初めての開催となるこの決起大会には、大阪府下の157名のトラック運送事業者等が参加した。

この決起大会は、国民生活と産業活動に必要な物流を安定的に確保する責務を負うトラック運送業界が、政府の推進する「働き方改革」への対応として、荷主・元請事業者へ積極的に物流の改善を提案し「ホワイト物流・自主行動宣言」を促進するとともに、トラック運送事業者もドライバーの労働条件・労働環境の改善ならびに長時間労働の是正等、生産性の向上に取り組む契機として開催したものである。

冒頭、辻 卓史会長から挨拶が行われた。そのあとの基調講演では、近畿運輸局 末満

彰悟自動車交通部長から「ホワイト物流とホワイト経営」を、大阪府トラック協会 滝口 敬介専務理事から「当面の取り組みについて」をテーマにそれぞれ講演が行われた。

この後、大阪府トラック協会 橋本充雄青年部会長より大会決議を実現する旨宣言したあと、参加者全員でガンバローコールが行われ、盛会のうちに今大会を閉会した。

なお、「運び方改革」の実現に向けて、会員各社の対応状況を把握するためのアンケートを実施しています。

大会決議

我われトラック運送事業者は、
ドライバー不足を克服し、自社の
経営の継続をもって、国民生活と
産業活動に必要な物流を安定的に
確保するため、荷主・元請事業者
に対し物流の改善を積極的に提案
することで「ホワイト物流・自主
行動宣言」運動を促進するととも
に、自らも「ホワイト経営認証制
度」を活用し、ドライバーの労働
条件・労働環境の改善に積極的に
取り組み、「運び方改革」を行なう
ことを、ここに決議いたします。

令和元年12月12日

一般社団法人大阪府トラック協会

会 長 辻 卓 史

青年部会長 橋 本 充 雄



大阪府トラック総会館 1 階ロビーに
決議文を掲示